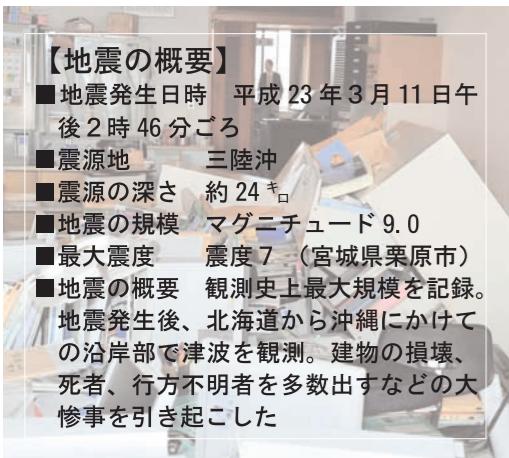


■地震による被害
○人的被害 死亡：0人（0）、けが：21人（15）、行方不明：0人（0）
○建物被害 全壊：21戸（21）、大規模半壊：2棟（2）、半壊：19戸（18）、一部破損：288戸（197）

曜日の昼下がりに日本全体を襲った東北地方太平洋沖地震——。経験したことのない程の激しく長い揺れ、直後に発生した大津波が、沿岸部を飲み込みました。棚は倒れ、机の引き出しは飛び出し、ブロック塀は崩れるなど、立つていることさえ困難な状況でした。本市では、人的・建物・道路被害などが発生。地震は大きな爪痕を残しました。

イフラインの被害も深刻になりました。発電所が停止し、地震直後から市内全域で停電。そのほか、各地で断水となり、電話も不通に。家族や友人の安否確認が遅々として進まず、不安と焦りが人々の心に重くのし掛かってきました。道路の被害も甚大で、数多くの場所で通行止めや片側通行規制となり、市民生活に大きな影響を及ぼしました。輸送機関の停止によって、日用品やガソリンの不足が深刻化し、頻発する余震が市民生活の不安にさらなる追い打ちを掛けました。



【地震の概要】	
■地震発生日時	平成23年3月11日午後2時46分ごろ
■震源地	三陸沖
■震源の深さ	約24キロ
■地震の規模	マグニチュード9.0
■最大震度	震度7（宮城県栗原市）
■地震の概要	観測史上最大規模を記録。
■地震発生後、	北海道から沖縄にかけての沿岸部で津波を観測。建物の損壊、死者、行方不明者を多数出すなどの大惨事を引き起こした

電気・水道・ガスが寸断 電話も広範囲で不通に



菅原 弥穂さん（26）
(江刺区岩谷堂)
夫、長女、両親、祖父母の7人家族。地震発生から3日間は車中で夜を過ごした。

普通の生活がとても幸せなこと

7カ月の娘を背負つて、夕飯の支度を始めた時に地震に襲われました。コンロの火を消し、急いで庭へ。激しい揺れで立つていてことさえできませんでした。私の家では電気、ガス水道が復旧せず、先の見えない不安と、日用品の不足などによるストレスで、母乳もあまり出なくなってしまいました。

幸いにも家族全員無事でしたが、夜になると、不安に押しつぶされそうになり、閉塞感でいっぱいでした。そのような中、地震発生から2日目に娘がつかまり立ちをしたんです。このように状況でもしっかりと成長していることに感動し、涙があふれました。物流などが平常に戻りつづける今、普通の生活がどれほど幸せなことなのか、再認識しています。あの日を境に、防災への意識が高まりました。今は節電に努め、少しでも役に立ちたいと思っています。



マグニチュード9.0の衝撃

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖地震発生——。今まで感じたことがない激しい揺れに、誰もが驚き、慌てたのではないでしようか。気象庁によると、震源は三陸沖で、マグニチュード9・0、最大震度7。観測史上最大の地震が、奥州市を含む広範囲にわたってその爪痕を残しました。本市全域で震度6弱を観測。各地で被害が発生し、ライフラインが寸断されるなど甚大な被害を受けました。市は、今回の地震で被災した皆さんに心よりお見舞いを申し上げるとともに、1日も早い完全復興を目指して取り組んでいきます。